

# キャリア形成プログラム

(外科学第一教室)

取得を目指す専門医資格

外科専門医, 呼吸器外科専門医

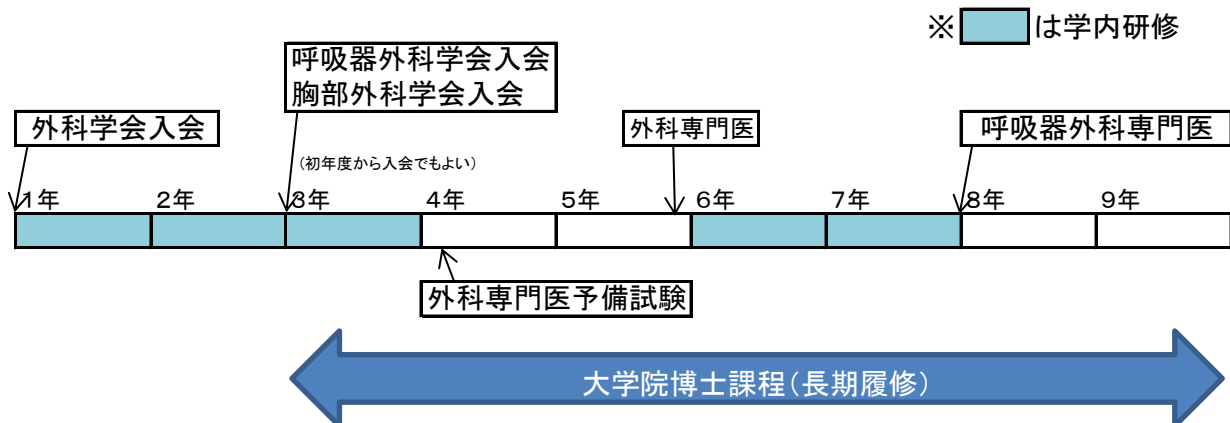
## 【コースの概要】

### 全体像

大学および関連研修施設における外科研修を経て、外科専門医を取得する。サブスペシャリティとして、呼吸器外科専門医としての研修を並行して行い、外科専門医取得後に呼吸器外科専門医資格を追加取得する。当教室では、呼吸器外科専門医、乳腺外科専門医の取得のための研修を同時に行うため、両方の資格を取得可能な要件が得られるが、片方のみ資格を申請することもできる。

2年間の初期研修の後、3年目の学内研修では、主に呼吸器外科、乳腺外科疾患の手術および診療に参加する。この時点で比較的安全な手術については術者として執刀を行う。希望に応じて随時心臓血管外科手術に参加することも可能である。その後、2年間の学外研修で一般外科・消化器外科領域の研修を行う。続く6年目および7年目では再び呼吸器外科および乳腺外科を専門領域として上級医の指導の下、ほとんどの手術例を自ら術者として執刀し、専門医資格を取得する。この2年間は大学病院または関連の認定研修施設で修練を行う。最短では卒後8年目で専門医取得が可能である。専門医取得後(8年目以降)は大学病院を含む県内の各診療拠点病院の呼吸器外科、乳腺外科において指導的立場の医師として勤務を行う。希望により、がんセンターなど国内の中核的病院への留学(概ね2年間)を行う者もいる。専門医資格取得後5年で指導医資格の取得が可能となる。将来的には、大学病院を含む各診療拠点病院の指導医として、施設の維持を担うことになる。

### ・9年間の研修予定(モデルコース)



関連する専門医資格として、気管支鏡専門医、がん薬物療法専門医、肺がんCT検診認定医師、癌治療認定医がある。本研修期間内で並行して取得することが可能である。

学位の取得について。

初期研修終了後、希望者は大学院に入学する。当教室では社会人大学院制度を利用しているため、大学院入学者も臨床の研修スケジュールは同じである。学外研修の時期は大学での週に1日の研究日を確保する。

## 指導体制

### ・研修先病院

学会認定施設		研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)		受入可能最大 人数(人)
外	呼				外	呼	
○	○	和歌山ろうさい病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	2	1	0	2
○	○	済生会和歌山病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	4	4	1	2
○	○	公立那賀病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	2	2	1	1
○	○	橋本市民病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	4	3	1	1
×	○	国立病院機構和歌山病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	2	2	0	1
○	○	国立病院機構南和歌山医療センター	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	4	3	1	2
○	×	国保すさみ病院	外科	2	2	0	1

(外:外科専門医, 呼:呼吸器外科専門医)

### ・専門医について

学 会 名	
外科専門医(日本外科学会)	医師免許, 日本外科学会への修練開始登録, 指定修練施設における卒後初期臨床研修期間を含み5年以上の研修, 修練開始後満4年で予備試験を受験, 合計350例以上の手術手技を経験(うち120例以上は術者), 規定に定める各領域においてそれぞれ規定数以上の手術手技の経験
呼吸器外科専門医 日本呼吸器外科専門医合同委員会	医師免許, 外科専門医, 卒後修練期間7年以上, 指定施設における3年以上の修練, 3年以上の会員歴, 術者として50例以上, 助手として100例以上の手術, 筆頭著者論文1編以上を含む3編以上の論文業績, 指定学会への計5回以上の参加と発表, 指定の教育セミナーへの参加, 医療安全などに関する研修への参加

# キャリア形成プログラム

(外科学第一教室)

取得を目指す専門医資格	外科専門医, 心臓血管外科専門医
-------------	------------------

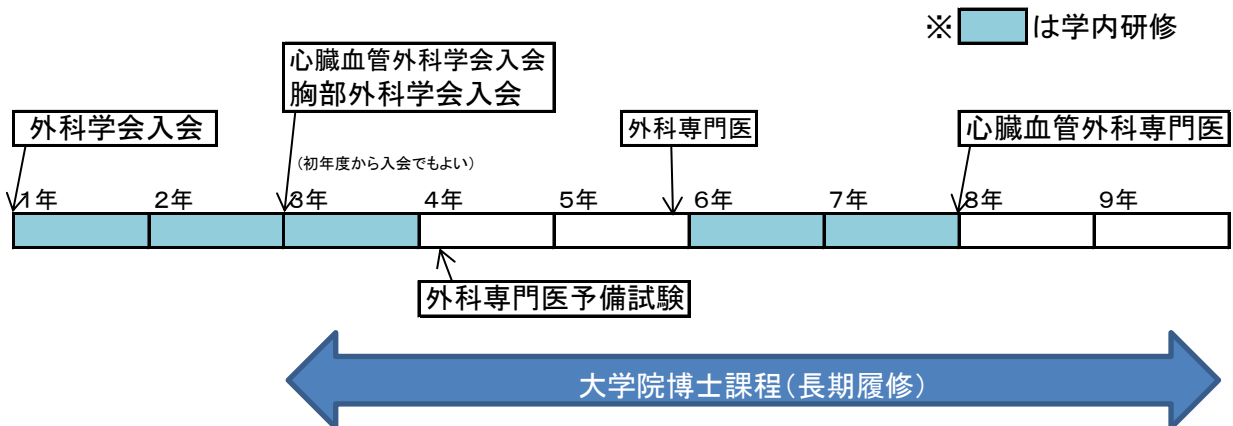
## 【コースの概要】

### 全体像

大学および関連研修施設における外科研修を経て、外科専門医を取得する。サブスペシャリティとして、心臓血管外科専門医としての研修を並行して行い、外科専門医取得後にこれらの専門医資格を追加取得する。

2年間の初期研修の後、3年目の学内研修では、主に心臓血管外科の手術および診療に参加する。この時点で末梢血管疾患(下肢静脈瘤、大腿動脈剥離など)の手術については術者として執刀を行う。希望に応じて随時呼吸器・乳腺外科手術に参加することも可能である。その後、2年間の学外研修で一般外科・消化器外科領域の研修を行う。続く6年目および7年目では再び心臓血管外科を専門領域として上級医の指導の下、比較的安全な手術を自ら術者として執刀し、専門医資格を取得する。この2年間は大学病院または関連の認定研修施設で修練を行う。最短では卒後8年目で専門医取得が可能である。専門医取得後(8年目以降)は大学病院を含む県内の各診療拠点病院の心臓血管外科において上級医とともに勤務を行う。希望により、国内の中核的病院への留学(概ね2年間)を行う者もいる。専門医資格取得後5年で指導医資格の取得が可能となる。将来的には、大学病院を含む各診療拠点病院の指導医として、施設の維持を担うことになる。

### ・9年間の研修予定(モデルコース)



関連する専門医資格として、循環器専門医、脈管専門医、血管内治療認定医、ステントグラフト実施医がある。本研修期間内で並行して取得することが可能である。

学位の取得について。  
初期研修終了後、希望者は大学院に入学する。当教室では社会人大学院制度を利用しているため、大学院入学者も臨床の研修スケジュールは同じである。学外研修の時期は大学での週に1日の研究日を確保する。

## 指導体制

### ・研修先病院

学会認定施設		研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)		受入可能最大 人数(人)
外	心				外	心	
○	×	和歌山ろうさい病院	外科	2	1	0	2
○	×	済生会和歌山病院	外科, 心臓血管外科	4	4	0	2
○	×	公立那賀病院	外科	2	2	0	1
○	×	橋本市民病院	外科, 心臓血管外科	4	3	1	1
×	×	国立病院機構和歌山病院	外科, 心臓血管外科	2	2	0	1
○	×	国立病院機構南和歌山医療センター	外科, 心臓血管外科	4	3	1	2
○	×	国保すさみ病院	外科	2	2	2	1

(外:外科専門医, 心:心臓血管外科専門医)

### ・専門医について

学会名	
外科専門医(日本外科学会)	医師免許, 日本外科学会への修練開始登録, 指定修練施設における卒後初期臨床研修期間を含み5年以上の研修, 修練開始後満4年で予備試験を受験, 合計350例以上の手術手技を経験(うち120例以上は術者), 規定に定める各領域においてそれぞれ規定数以上の手術手技の経験
心臓血管外科専門医 (心臓血管外科専門医認定機構)	医師免許, 外科専門医, 卒後修練期間7年以上, 指定施設における3年以上の修練, 3年以上の会員歴, 術者として50例以上, 第一助手として50例以上などの手術, 筆頭著者論文1編以上を含む3編以上の論文業績, 指定学会への計3回以上の参加, 指定の教育セミナーへの参加, 医療安全などに関する研修への参加

# キャリア形成プログラム

(外科学第一教室)

取得を目指す専門医資格

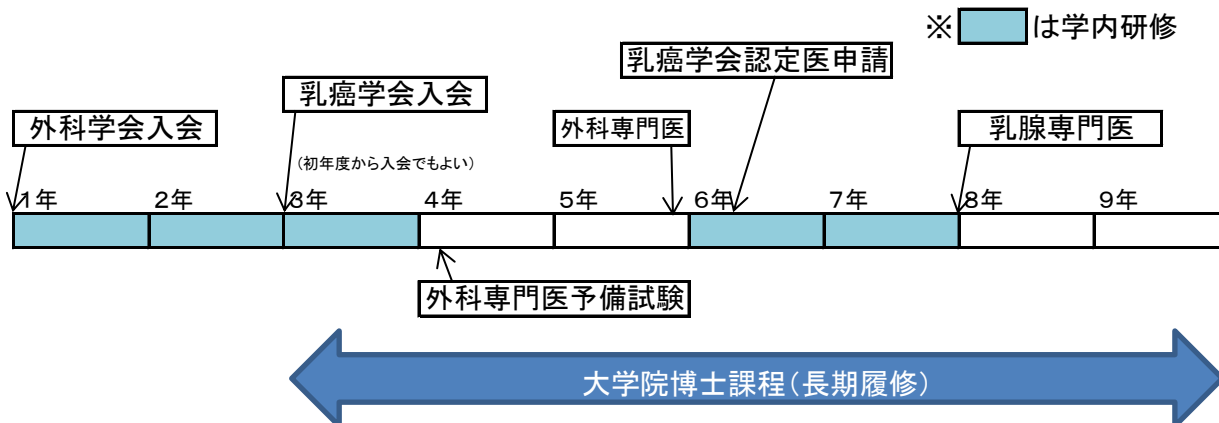
外科専門医, 乳腺専門医

## 【コースの概要】

### 全体像

大学および関連研修施設における外科研修を経て、外科専門医を取得する。サブスペシャリティとして、乳腺専門医としての研修を並行して行い、外科専門医取得後に乳腺専門医資格を追加取得する。当教室では、呼吸器外科専門医、乳腺外科専門医の取得のための研修を同時に行うため、両方の資格を取得可能な要件が得られるが、片方のみ資格を申請することもできる。2年間の初期研修の後、3年目の学内研修では、主に呼吸器外科、乳腺外科疾患の手術および診療に参加する。この時点で比較的安全な手術については術者として執刀を行う。希望に応じて随時心臓血管外科手術に参加することも可能である。その後、2年間の学外研修で一般外科・消化器外科領域の研修を行う。続く6年目および7年目では再び呼吸器外科および乳腺外科を専門領域として上級医の指導の下、ほとんどの手術例を自ら術者として執刀し、専門医資格を取得する。この2年間は大学病院または関連の認定研修施設で修練を行う。最短では卒後8年目で専門医取得が可能である。専門医取得後(8年目以降)は大学病院を含む県内の各診療拠点病院の呼吸器外科、乳腺外科において指導的立場の医師として勤務を行う。希望により、がんセンターなど国内の中核的病院への留学(概ね2年間)を行う者もいる。専門医資格取得後5年で指導医資格の取得が可能となる。将来的には、大学病院を含む各診療拠点病院の指導医として、施設の維持を担うことになる。

### ・9年間の研修予定(モデルコース)



関連する専門医資格として、がん薬物療法専門医、検診マンモグラフィ読影認定医師、癌治療認定医がある。本研修期間内で並行して取得することが可能である。

学位の取得について。

初期研修終了後、希望者は大学院に入学する。当教室では社会人大学院制度を利用しているため、大学院入学者も臨床の研修スケジュールは同じである。学外研修の時期は大学での週に1日の研究日を確保する。

## 指導体制

### ・研修先病院

学会認定施設		研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)		受入可能最大 人数(人)
外	乳				外	乳	
○	○	和歌山ろうさい病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	2	1	1	2
○	○	済生会和歌山病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	4	4	0	2
○	○	公立那賀病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	2	2	2	1
○	○	橋本市民病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	4	3	1	1
×	×	国立病院機構和歌山病院	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	2	2	0	1
○	○	国立病院機構南和歌山医療センター	外科, 呼吸器外科, 乳腺外科	4	3	1	2
○	×	国保すさみ病院	外科	2	2	0	1

(外:外科専門医, 乳:乳腺専門医)

### ・専門医について

学 会 名	
外科専門医(日本外科学会)	医師免許, 日本外科学会への修練開始登録, 指定修練施設における卒後初期臨床研修期間を含み5年以上の研修, 修練開始後満4年で予備試験を受験, 合計350例以上の手術手技を経験(うち120例以上は術者), 規定に定める各領域においてそれぞれ規定数以上の手術手技の経験
乳腺専門医(乳癌学会)	医師免許, 本学会認定医である, 継続5年以上の会員歴, 指定の施設における5年以上の修練, 指定の施設における100例以上の乳癌症例の診療経験, 指定の教育セミナーなどの研修実績, 筆頭論文1編を含む指定数以上の研究発表業績